

2024年2月  
臨時特別号

土庄町役場 建設課  
TEL:0879-62-7006  
FAX:0879-62-2400

# 土庄町立地適正化計画

## 住民説明会ニュース



### 立地適正化計画の周知や町民の声を聞くため、パブリックコメントと合わせて、説明会を開催しました

土庄町では、令和4年3月に策定した「土庄町都市計画マスタープラン」で示す基本的な方針に実効性を与えることができ、また規制と誘導措置によって、持続可能なまちづくりの実現を目指そうとする、『立地適正化計画』の作成を昨年度より行ってまいりました。

町民の皆様とのワークショップや外部有識者を含めた策定委員会、庁内会議などにおける検討を重ね、この度、『土庄町立地適正化計画（案）』を取りまとめましたので、令和6年1月28日に『住民説明会』を開催しました。

66名の方に参加いただき、計画案に対して、様々なご意見を頂きました。頂いた意見を踏まえ、計画や取組に反映していきます。

#### ～当日のプログラム～

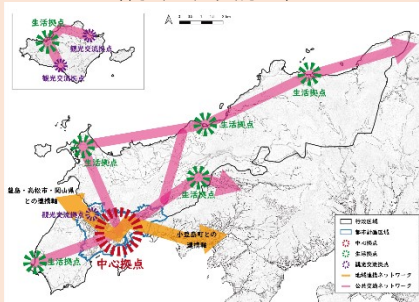
1. 開会
2. 立地適正化計画策定の趣旨
3. 立地適正化計画について
4. 土庄町における立地適正化計画について  
○誘導区域・施策の設定、防災指針  
○具体的取組の展開等  
○目標値  
○届出制度 等
5. 質疑等
6. 閉会

#### 「土庄立地適正化計画（案）」の抜粋 ※詳細は本編をご確認ください

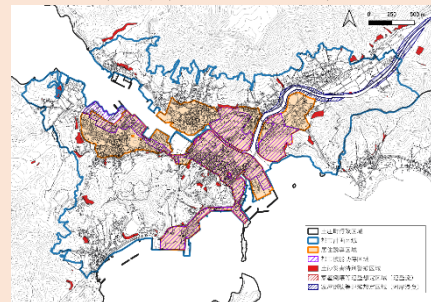
##### 【まちづくりの基本方針】

- 中心拠点が生活拠点を補完し、島内外とのネットワーク(役割分担)を明確化
- まちなかにおける低未利用物件の計画的な活用・開発を進め、町の発展や交流を促進
- 徒歩・自転車でも生活しやすい、高密度で効率的な市街地の形成

##### (将来都市構造)



##### (都市機能誘導区域)



##### 【防災まちづくりの将来像】

- 災害リスクに対する理解を高め、互いに支え合い、成長できる、強くてしなやかな市街地及び体制の構築

##### 【重点プロジェクト】

- 中心拠点において、今後は「公共の低未利用地、空地の活用・整備」、「エリアの魅力向上やにぎわい・交流創出、居住利便性の向上」、「迷路のまちの整備」等の取組を展開



# 計画（案）に対する主な意見と町の考え方

皆様からいただいたご意見に対して、都市計画行政の観点から町の考え方や方針をお示しします。

	主な意見	町の考え方
財政難と人口減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政難と人口減少について、借金がこれからも増えていくと思うが、コンパクトなまちづくりとともに財源と人の確保を付け加えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画を運用していくに当たり様々な取組を行っていきたいと考えています。そのような中で国の補助金に頼るだけではなく、自分たち(公民連携)でどのように外貨(=お金)を稼ぐのかを検討し、仕組みを作っていきたいです。</li> <li>人口の維持・増加を目標としたいところですが、超長期的なスパンで観察していかなければならないと考えており、本計画の運用においては、人口減少下においても人口密度の維持や都市機能の利便性の充実を図っていけるようにしたいと考えています。</li> </ul>
小豆島との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>小豆島町との連携と施設の地域分担が必要では？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連携の視点から、小豆島全体の施設機能等の在り方や今後の施設整備、施設機能の分担等について、小豆島町の担当者の方々へのヒアリングを行っています。施設機能の分担は双方とも必要であることで意見が一致しており、今後も更なる協力体制を整え、島全体を俯瞰した事業を推進していきます。</li> </ul>
区域外への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画区域外の地域においても環境保全等の規制があっても良いのではないかと？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の生活拠点において、道の駅や公民館等を機能強化した核づくりが必要な拠点や、自然環境や景観を保全することが必要な拠点があると考えています。</li> <li>中心拠点と生活拠点を結ぶネットワークを重視しつつ、生活拠点においてどのような施策が必要なのか、地域の方々と一緒に話していきたいと考えています。</li> </ul>
高齢者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者が増えていく中で、そのような方々を施設へ集約するような計画はあるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者の方々を町営住宅等の施設に集約するというような計画はございません。</li> <li>しかしながら、「高齢者にとって暮らしやすい環境づくり」を誘導方針の1つとしており、利便性の高いまちなか(居住誘導区域)への居住を薦め、安心安全に歩いてでも暮らしやすく、健康づくりにもつながる市街地整備に努めていきます。</li> </ul>
情報周知・災害対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災も含めた町で抱えている様々な問題に対応した計画作成が必要であり、それら計画の進捗状況や将来を見据えた具体的な施策などの情報を住民に周知してほしい。</li> <li>さらに災害時のリアルタイムでの広報が必要では？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済の発展は、様々な施策を駆使しなければならないの思いから、庁内横断で取り組む必要があると感じています。本計画では、人口密度の維持や生活利便施設(生活サービス)の効率的な提供などを目的に、本町の特性と実情に応じたまちづくりを目指しているところですが、町の魅力向上のための事業に取り組むことにより経済的な効果も生み出すような施策も検討します。</li> </ul>
地域経済の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済の発展に対する視点が必要であり、地元経済界と一緒に将来ビジョンを作る必要もあるのではないかと？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済の発展につきましては、様々な施策を駆使しなければならないの思いから、庁内横断で取り組む必要があると感じています。</li> <li>本計画におきましては、人口密度の維持や生活利便施設(生活サービス)の効率的な提供などを目的に、本町の特性と実情に応じたまちづくりを目指しているところですが、町の魅力向上のための事業に取り組むことにより経済的な効果も生み出すような施策も検討いたします。</li> </ul>
まちなかの滞在快適性の向上とインフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジェルロードと迷路のまちを一体と捉えて、歩いて散策する方の休憩施設や土産店が必要ではないか？</li> <li>こどもの遊び場や地域コミュニティの場となる公園の整備は非常に重要。</li> <li>今ある建物の維持管理や更新をしっかりやってほしい。</li> <li>迷路のまちにおいて、空き家の問題や火災等の防災対策問題について、国の制度等を使った方策が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジェルロードと迷路のまちの一体的整備の必要性は認識しており、さらに土庄港から迷路のまちまでのルート整備も重要であると考えています。</li> <li>土庄港からエンジェルロードまでのルートは観光客が多く訪れることから、にぎわい創出の場であるとも考えており、地域の方々や観光客の交流を生み出すような場と歩いて楽しめるような道の実現に向けた事業を展開しようと検討しております。こどもから高齢者まで、安全・安心かつ快適な空間づくりに取り組んでまいります。</li> </ul>